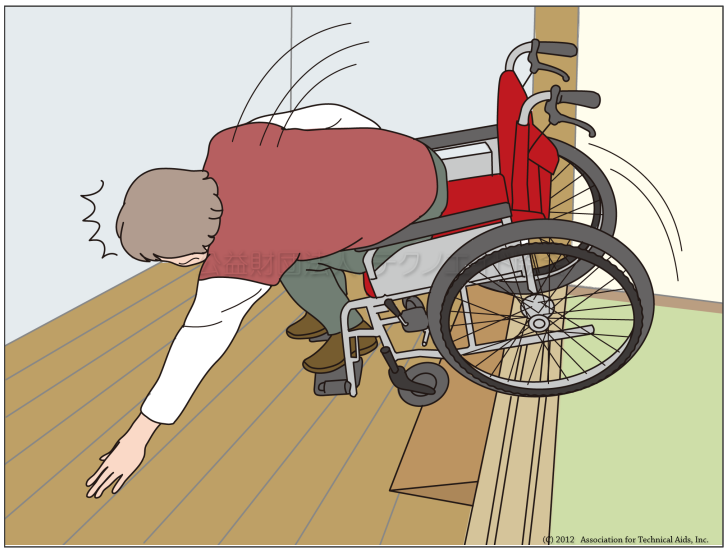
Case：136

簡易スロープを前向きで下りたところ、前方へ転落しそうになる

場面の説明

簡易スロープの傾斜が思ったよりもきつく、不意に傾いてバランスを崩した



利用シーン	移動
主な利用場所	段差・縁石
介護保険の種目	スロープ
分類コード (CCTA95)	183018 (固定用スロープ)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

段差の高さにもよりますが、車いすでは傾斜は後ろ向きに下りることが基本です。車いすが前傾することで前方に倒れやすくなり、また前輪であるキャスタは小径のため重さがかかると前へ進みにくくなることもあります。やむなく前進で下りる際には、バックサポート側に身体をあずけ、後方に重心をかけることを意識して、ゆっくりと進行しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：これくらいの傾斜なら大丈夫だと思った
モノ：スロープの傾斜がきつかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.